

コード	50103
作成年度	26年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	義務教育の充実
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	しまの誇り・文化の育成
施策名称	学校教育の充実

課コード	124	関係課名
主管課名	学校教育課	

## 基本事業の目的

「ゆめを持ち、心豊に、たくましく生き抜く力」を身につけるため、各学校が特色を活かしながら創意工夫し、「確かな学力」の向上と「心の教育」の充実を図ることを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	研究校	成果指標名称 2	研究課題
成果指標の積算根拠	研究校÷対象校	成果指標の積算根拠	研究数÷研究課題数
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	4校	目標達成数値	4課題

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	校	4	4	4	4	4
	実績 B		校	4	4	4	4	-
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標 2	目標 A	単位	課題数	4	4	4	4	4
	実績 B		課題数	4	4	4	4	-
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	

1次評価	現状	学校教育における推進課題の中から4課題を選定し、実践的研究を推進している。（「複式授業」・「表現活動」・「道徳教育」・特別支援教育）
	課題	児童・生徒数が年々減少しており、それに伴い小学校での複式学級が増加している。複式学級での学力向上は大きな課題であり、研究を推進していく必要がある。また、特別支援教室について、取り組むべき課題が多く、継続した研究・取組が必要である。
	改善	研究してきた成果を学校教育に活かして実践していくことで、義務教育の充実を図っていかなければならない。

2次評価	少子化に伴い児童生徒数が減少し学校の小規模化が進む中で、学校・家庭・地域が協力・連携して豊かな人間性を持つ子どもたちの育成を図るための教育環境の改善・充実に努めていくこと。また、児童・生徒が減少していく中、一人ひとりを大切に教育内容の充実を図っていくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	501030201	町教育会補助事業	学校教育課	100千円	(途中) このまま事業を継続
2	501030202	町学校保健会補助事業	学校教育課	182千円	(途中) このまま事業を継続
3	501030301	統廃合関連（給食費、修学旅行）補助事業	学校教育課	70千円	(途中) このまま事業を継続
4	501030302	通学費補助事業	学校教育課	57千円	(途中) このまま事業を継続
5	501030502	文化活動補助事業	学校教育課	300千円	(途中) 事業費を見直して継続
6	501030503	体育活動補助事業	学校教育課	7,237千円	(途中) 事業費を見直して継続
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				7,946千円	